

募集定員の設定方法に関する都道府県の意見

資料5

都道府県	都道府県ごとに募集定員の上限を設定することについて				募集定員に関する当面の取扱い					
					病院の募集定員は、前年度の内定者(マッチ者)の実績を勘案して設定する取扱いについて			都道府県の募集定員の上限の値は、各都道府県の研修医受入実績から10%以上削減しないという取扱いについて		
	賛成	改善すべき点はあるが賛成	反対	その他	継続すべき	廃止すべき	その他	継続すべき	廃止すべき	その他
北海道		○			○				○	
青森県	○				○			○		
岩手県		○			○				○	
宮城県		○			○				○	
秋田県		○				○			○	
山形県	○					○			○	
福島県		○				○			○	
茨城県		○				○			○	
栃木県		○				○		○		
群馬県		○			○					○
埼玉県		○				○			○	
千葉県			○		○				○	
東京都			○		○			○		
神奈川県				○	○			○		
新潟県	○					○			○	
富山県	○					○			○	
石川県		○				○			○	
福井県		○				○			○	
山梨県		○				○				○
長野県				○		○			○	
岐阜県		○				○			○	
静岡県		○			○				○	
愛知県				○	○			○		
三重県		○				○			○	
滋賀県		○				○		○		
京都府			○				○			○
大阪府			○		○					○

都道府県	募集定員に関する当面の取扱い									
	都道府県ごとに募集定員の上限を設定することについて				病院の募集定員は、前年度の内定者(マッチ者)の実績を勘案して設定する取扱いについて			都道府県の募集定員の上限の値は、各都道府県の研修医受入実績から10%以上削減しないという取扱いについて		
	賛成	改善すべき点はあるが賛成	反対	その他	継続すべき	廃止すべき	その他	継続すべき	廃止すべき	その他
兵庫県				○			○			○
奈良県	○					○			○	
和歌山県		○			○				○	
鳥取県	○					○			○	
島根県		○			○					○
岡山県		○			○					○
広島県		○			○		○			
山口県		○			○					○
徳島県		○			○				○	
香川県		○			○				○	
愛媛県		○			○				○	
高知県	○				○				○	
福岡県			○				○			○
佐賀県				○			○			○
長崎県		○				○			○	
熊本県			○		○			○		
大分県		○			○				○	
宮崎県		○				○			○	
鹿児島県		○				○			○	
沖縄県		○			○			○		
合計	7	29	6	5	23	20	4	9	28	10

募集定員の設定方法に関する都道府県の意見

	都道府県ごとに募集定員の上限を設定することについて	募集定員に関する当面の取扱い	
その他を選んだ都道府県における具体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・人口10万人当たりの医師数など、各都道府県の状況を反映する算定方法としていただきたい ・医学部定員の地域枠増加分を募集定員数に加算できるようにしていただきたい ・都市部の都道府県のみ上限を設定し、医師不足の県には上限を設定しないでいただきたい ・都道府県において地域の政策的必要性を勘案して調整できるようにしていただきたい 	<p>病院の募集定員は、前年度の内定者(マッチ者)の実績を勘案して設定する取扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集定員の上限設定自体に反対 ・都道府県圏域を超えた医師派遣実績を考慮していただきたい ・都道府県において地域の政策的必要性を勘案して調整できるようにしていただきたい ・都道府県別の募集定員の設定は、地域医療や医学教育への混乱をもたらす ・過去の受入実績に比重を置くと地方の県は苦しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県の募集定員の上限の値は、各都道府県の研修医受入実績から10%以上削減しないという取扱いについて ・激変緩和措置はある程度やむを得ない ・急激な募集定員の減は病院の運営に支障がある ・募集定員の上限設定自体に反対 ・都道府県圏域を超えた医師派遣実績を考慮していただきたい ・10%が適当であるかは疑問がある ・都道府県別の募集定員の設定は、地域医療や医学教育への混乱をもたらす ・希望者の多い病院への配慮は必要であるが、全体の募集定員は受入実績程度まで減らすべき ・一定期間継続後、廃止すべき ・適用されている県の実情を把握していないので判断できない
その他を選んだ都道府県における具体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・人口10万人当たりの医師数など、各都道府県の状況を反映する算定方法としていただきたい ・医学部定員の地域枠増加分を募集定員数に加算できるようにしていただきたい ・都市部の都道府県のみ上限を設定し、医師不足の県には上限を設定しないでいただきたい ・都道府県において地域の政策的必要性を勘案して調整できるようにしていただきたい 	<p>病院の募集定員は、前年度の内定者(マッチ者)の実績を勘案して設定する取扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集定員の上限設定自体に反対 ・都道府県圏域を超えた医師派遣実績を考慮していただきたい ・都道府県において地域の政策的必要性を勘案して調整できるようにしていただきたい ・都道府県別の募集定員の設定は、地域医療や医学教育への混乱をもたらす ・過去の受入実績に比重を置くと地方の県は苦しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県の募集定員の上限の値は、各都道府県の研修医受入実績から10%以上削減しないという取扱いについて ・激変緩和措置はある程度やむを得ない ・急激な募集定員の減は病院の運営に支障がある ・募集定員の上限設定自体に反対 ・都道府県圏域を超えた医師派遣実績を考慮していただきたい ・10%が適当であるかは疑問がある ・都道府県別の募集定員の設定は、地域医療や医学教育への混乱をもたらす ・希望者の多い病院への配慮は必要であるが、全体の募集定員は受入実績程度まで減らすべき ・一定期間継続後、廃止すべき ・適用されている県の実情を把握していないので判断できない